

## 令和2年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書(市町村分)個票

市区町村名 **酒田市** (都道府県: )  
 本事業の担当部局名 **健康福祉部健康課**

事業メニュー	優良事例の横展開支援		
区分	結婚・妊娠・出産・乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組		
関連事業メニュー	2-(3) 主に若い世代に対し、結婚・妊娠・出産・子育て、仕事を含めた将来のライフプランを希望どおり描けるよう、その前提となる知識・情報を提供し、考える機会を持たせる取組		
個別事業名	妊娠・出産・子育てに対する知識の普及・啓発事業	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和3年3月31日		
所要見込額 ※(注)1	722 千円 補助率: <b> </b> (交付金所要額: <b> </b> 361 千円)		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>本市では妊娠・出産・子育ての支援として、子どもを産み育てやすい環境を整備し、子育て世代が酒田で子育てを楽しむことができる施策を実施している。妊娠期からの相談窓口として子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」の運営、マタニティ教室、新生児訪問、子育てサロン等、ライフステージに応じた切れ目のない支援の実施を母子保健部門、児童福祉部門、子育て支援センター、発達支援室等と連携している。</p> <p>本事業は、母子保健分野の取組として、将来を担う子供達・新婚夫婦・妊娠期夫婦・子育て期夫婦等を対象にライフプランを意識できるよう、また不安なく妊娠・出産・子育てができるよう取り組む。子育て世代包括支援センターとの協働、学校保健部門との協働、マタニティ教室とのタイアップなどで効果的な事業展開をしていく。</p>		
個別事業の内容 ※(注)3	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p>&lt;現状と課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新婚期や子育て期カップルを対象としたライフデザイン講座は、休日開催や体験型の内容を取り入れたことで参加者は増加傾向にあり、赤ちゃん人形を使っての育児体験は具体的な育児イメージができると好評。参加者は第1子の妊娠期カップルが多いが、市の年間第1子出生265人(H30年度)のうちでの参加率は11.3%程度と少ない。対象者への事業の周知と、参加者だけでなく若い世代の対象者に広くライフデザインを意識してもらえるような情報発信がさらに必要と思われる。</li> <li>・父親手帳を作成し母子手帳交付時に配布するとともに、渡し切りにせずマタニティ教室等参加時に父親だけのグループワークを行い、目指す父親像等話してもらい好評を得ている。グループワークは、市の年間第1子出生265人(H30年度)のうちでの参加率は27.5%と少ないため、これから父親になる方全員が父親手帳を通して同様の内容を考えるきっかけづくりができるよう内容の見直しが必要と思われる。</li> <li>・中学3年生を対象に、妊娠・出産・子育ての正しい知識普及のためのリーフレットを作成、授業等で活用してもらいライフプランを考えるきっかけづくりをしている。事業開始から数年経過し各学校での活用が、思春期教室でリーフレット内容に沿ってじっくり活用する学校や配布のみにとどまる学校等様々な形になっている。妊娠・出産・子育ての正しい知識普及のため、学校による活用の偏りの差を減らし、学校側からの取り組みやすい内容についての意見集約が必要と思われる。</li> </ul> <p>&lt;課題への対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座参加者は母子手帳交付時の案内をみて申し込む方が多いため、交付時勧奨を重点的に実施する。また、妊娠後期来所や新生児訪問等の機会勧奨、子育て関連施設へのチラシを配置し周知していく。ライフデザイン講座の内容を若い世代へ広く情報発信するために、ホームページやフェイスブックで取組内容を情報発信していく。</li> <li>・父親手帳には妊娠期から父親の育児参画意識を高められるよう、目指す父親像や具体的な育児参加や母親サポート等を書き込めるよう内容を見直す。</li> <li>・妊娠・出産・子育てのポジティブイメージリーフレットについては、各学校での啓発の取り組みがしやすいように活用マニュアルを作成するとともに、活用する学校職員へも、どのような活用方法で取り組んだか、どのような内容であるか取り組みやすいか等、内容見直しに向けてアンケートを実施する。</li> </ul> <p>(2) 母親サポートと男性の育児参加を促すための父親手帳の作成(継続) 253千円          父親が妊娠期からパートナーを支え、夫婦が協力して育児に臨むための知識や身近な子育て情報を盛り込んだ父親手帳を作成し、母子手帳交付時に配布する。父親手帳については渡し切りにせず、マタニティ教室等で父親だけのグループワークを行い、親の役割や目指す父親像や具体的な育児参画を話し合うことにより内容を深めており好評を得ている。また、父親手帳の活用や実際の育児参画について、3か月健診でアンケートを実施する。グループワークの内容を父親手帳配布者全体に広げられるよう、父親手帳に目指す父親像や具体的な育児参画や母親サポート等を書き込めるよう内容を見直し、妊娠期から父親の育児参画意識を高める。</p> <p>父親手帳作成 650部(母子手帳交付時配布620部、子育て関係機関配布30部)          父親グループワーク 全4回 各20名          印刷製本費 253,825円(A6 40P @355円×650部×1.1)</p> <p>(3) 妊娠・出産・子育てポジティブイメージリーフレットの作成(継続) 319千円          中学3年生を対象に、妊娠・出産・子育ての正しい知識の啓発、ライフイベントを通じ自分の将来像を考えるきっかけづくりのため、妊娠・出産・子育てポジティブイメージリーフレットを作成し配布する。リーフレットの内容は、自分のことを知ることから始まり、未来予想図を作りながら将来を具体的にイメージできる内容とし、結婚や子どもをもつことを押し付ける内容とならないよう配慮する。また、心と体の変化や妊娠・出産については、クイズや図表で理解を深める。リーフレットは、学校の授業や思春期教室で活用してもらうため、学校や教育委員会等と連携を図る。各学校での活用の偏りを少なく活用できるよう、リーフレット活用マニュアルを作成し学校へ配布する。知識の理解度やリーフレットの役立ち度等のアンケートを中学生に実施する。中学生の実施として定着してきたが、各学校の活用は思春期教室やクラスのホームルーム等様々なため、活用する側の教員へもアンケートを実施し、活用しやすいリーフレットへの内容見直しに向けて意見をもらう。</p> <p>リーフレット作成 1,000部(市内中学校7校 950部、関係機関配布50部)          印刷製本費 319,000円(A5 14P @290円×1,000部×1.1)</p>		

<次年度以降に向けた事業の方向性>

令和3年度以降も、若年層に対するライフプランに関する知識の普及啓発、父親の育児参画について取り組み、他課や関係機関と連携を図りながら子育てに温かい地域づくりを行っていく。

	KPI項目		単位	目標値
	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	<アウトプット>		
(1)ライフプラン啓発講座参加者と達成度 (H30:36人)			人	60
			%	100
(2)父親グループワークの参加者数 (H30:73人)			人	80
(3)リーフレットを活用した中学生人数 (H30:696人)			人	700
<アウトカム>				
(4)夫婦でライフデザインを考えるきっかけとなった割合 (H30:100%)			%	100
(5)ライフプラン啓発講座を友人知人に勧めたいと思った割合 (H30:80%)			%	90
(6)父親手帳配布者のうち育児に参画している父親の割合 R2:人 (H30:95%)			%	100
(7)父親グループワークで育児参画や母親支援の意識が向上した割合 (H30:65.8%)			%	90
(8)リーフレットが将来のために役立つ・少しは役立つと思った割合 (H30:95.8%)		%	100	
(9)リーフレットの妊娠出産に関する正しい知識の理解度 R2:人 (H30:95.8%)		%	100	
・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5	県事業では、高校生等を対象としたライフデザインセミナーを開催している。そのため、本市においては新婚カップルや中学生を対象にして、妊娠・出産・子育てに対する知識の普及・啓発を図る。			
・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)6	父親手帳・リーフレットの作成にあたっては、妊娠期からの母親のサポートやうつ予防、妊娠・出産の最新の情報や子どもの発達等の専門的な立場から、専門職や子育て団体の協力を得ながら進める。			
・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 地域創生部 (配慮すること) ・父親手帳やポジティブイメージリーフレット作成時には、性的役割分担意識等特定の価値観を押し付ける内容とならないよう配慮し関係部局との連携を図る。			
・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) 事業参加者のお子さんを事業実施時間帯にお預かりするもの (随契の理由) 保育士資格を有する会員の登録を得て託児事業受託を行っている市内唯一の特定非営利活動法人組織のため。当市財政担当課より了解あり。			
・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 取組名: _____ 有の場合の担当部局: _____			

(注)

1「所要見込額」には、本交付金の対象経費支出予定額を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。併せて、「交付金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。

2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組連携しているのかを記載すること。

3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は、個別事業ごとに効果検証を実施し、都道府県にその詳細な結果を都道府県が別に定める日までに報告すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

(過去に設定したKPIも別紙に記載すること。)

5「都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を都道府県と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けにならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関連部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。

9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業を実施する場合)。